

◆企画名	関大生起業家に聞く！私の大学生生活の過ごし方
日 程	平成 27 年 11 月 24 日 (火)
場 所	第 1 学舎 1 号館 A201
参加者数	53 名 (ピア・サポータ 7 名、一般学生 46 名)
目 的	

- ①学外で様々な活動をしている関大生について知る機会を一般の学生に提供することで、目にした学生が刺激や気づきを得ることにつながる。
- ②学外で取り組んでいる活動について、学内で紹介する機会を提供することで関西大学への帰属意識を高めることにつながる。

内 容

主に、自分の学生生活について悩みを持っている学生を対象に、多様な過ごし方のうち一つを自身の経験をもとに同じ関大生に紹介してもらう機会として企画した。スピーカーは「Lovegraph」フォトサイト・写真撮影サービスの運営を行っている、社会学部 4 年次生駒下純兵さんをお願いした。トークテーマは①課外活動と学業の両立法②新たな一步を踏み出す方法③自分の好きなことの見つけ方④“カップル写真を撮る”とは？などで、自身の経験に基づきプレゼンテーション形式でお話をしてもらった。

効 果

1～4 年次生までの男女学生に幅広く参加してもらうことができた。参加者アンケートでは、大半が「大変満足」「満足」との回答だった。また、「駒下さんの話が面白かった」「WEB サイトだけでは分からない人柄等を知ることができた」「前々から興味があった Lovegraph の話を楽しく聞いた」等、ポジティブな感想が多く寄せられた。

改 善 点

- ・ 1 週間に本企画を含め 3 つの企画を実施したため、直前準備に余裕がなかった。
- ・ 途中退室、途中参加の参加者が少し気になった。
- ・ 教室の広さ的にマイクがなくても十分声は届いたが、記録用動画を撮影していたため、マイクを使った方がよかった。
- ・ 質疑応答以外にも、もう少し参加者参加型の企画になるような工夫があってもよかった。

感 想

序盤に自身の経歴・取り組んできた活動についての紹介をしてもらったが、それだけでなく、「挑戦すること」についてどう捉えているかなどを同じ学生の目線で語ってもらうことができよかったと思う。「探そうと思わないと、見つからないこともある。チャンスも探さないと見つからない。意思をもって行動することが大事。小さな決断を繰り返すことで、人生は変わっていく」という駒下さんならではのメッセージは、同じ現役関大生だからこそ、参加した学生の心に届く・背中を押すものだったのではないかと思う。

企画当初の、「関大生と関大生を結ぶ企画」「色々な大学生活を送っている関大生の存在を知ることで自分の大学生生活の参考に、より豊かにしてもらいたい」という KUSP 側の狙いと、スピーカーの学生の「自分だからこそ伝えられることを話したい」「母校に爪跡を残したい」という想いが合致して実現することができた。

本企画は「関大生の団体及び個人で特技を“教える”ことのできる学生を募集し、“教わりたい”学生の前でレクチャーしてもらう」という KUSP の新たなパッケージ企画“あなたの得意、シェアしませんか？”の一環として実施した。“教える”側と“教わりたい”側の学生の相互の成長を目指すことを目的とするこの形での企画は、11 月 20 日 (金) に行われた「輝く自分に！ファッションから自分磨きはじめませんか？」の企画に続き 2 件目であった。関大生同士の交流・また関大生が関大生をサポートするという新たな試みの企画をこれからも検討していきたい。